



「がん患者へのヘア・ドネーション・プログラムの実施」  
報告書

2011年6月

特定非営利活動法人キャンサーリボンズ



## 主旨・概要

2008年6月に発足したNPO法人キャンサーリボンズは、がん患者さんの「自分らしく少しでも心地よい生活」の実現に向けて、多くの医療関係者の方々、患者さんやそのご家族、さらには本活動の主旨にご賛同いただいた皆さまのご支援のもと活動してまいりました。

日本人の「3人に1人」～「2人に1人」が罹るがんは、全ての人にとって他人ごとではありません。ゆえに、一人でも多くの人に、がん支えあいのネットワークに参加していただきたいと考えています。日本に根付きにくいといわれる「ドネーション」(寄付)だけに、日本人にあった新しい形を提案したいと、がん患者さんへのヘア・ドネーション・プログラム(寄付された髪で医療用ウィッグを作って女性患者さんに贈呈)を行っています。

「キレイの力」プロジェクトと名付けたこのプログラムは、女性の美のエキスパートである「P & G パンテーン」との協働事業としてスタートしました。ヘア・ドネーションは、将来臨床の場で患者さんを支える看護職となる看護学生(参加は学校単位)から募り、看護学生が伸ばした髪をカットするのは美容師を目指す理美容学生ら、若い世代の参加が特徴です。

また、この活動の認知をPRによって高めることで、一般の方や医療従事者の「患者さんのQOLの大切さ」への理解を促し、療養 & 生活環境をよりよいものとする一助になればと思っています。

今回の助成は、ヘア・ドネーションに参加してくれる看護学生募集のための学校説明会～ヘアケアしながら髪を伸ばす看護学生の活動サポート～卒業生のヘアカットに充当させていただきました。(在校生については、6月開催の理容美容専門学校でのヘアカット・イベント等を通じて髪を寄付していただきました。)

看護学生さんの髪と、P & G パンテーンの収益の一部からの寄付も活用し、来年6月までの1年間で100人の女性に医療用ウィッグをお贈りすることを目指します。

主催	特定非営利活動法人キャンサーリボンズ
共催	P & G パンテーン
助成	日本財団
ウィッグ制作協力	株式会社スヴェンソン
ヘアカット協力	窪田理容美容専門学校



## 学校説明会

プロジェクトに参加してくれた看護学校は、全7校(国立病院機構岡山医療センター附属岡山看護学校、慶應義塾大学、東都医療大学、聖マリアンナ医科大学看護専門学校、聖路加看護大学、兵庫医療大学、深谷大里専門学校)。特に今回は岡山や兵庫といった関東以外の地域からの参加がありました。

各看護学校を、プロジェクトメンバーである山崎多賀子さん(がん体験者、美容ジャーナリスト)や事務局の担当者、学校によっては昨年ウィッグをお贈りした患者さんが訪問し、授業中や放課後に説明会を開催する機会をいただきました。その結果、髪を寄付する「ヘア・ドネーション・プログラム」に参加した看護学生は95名となりました。

説明会ではがん体験者によるお話や前年までの活動の報道内容などを学生約300名に見聞きしてもらい、最終的にプロジェクトに参加しなくても、がん患者さんや患者さんの生活について知ってもらう良い機会にもなりました。

### 【学校説明会の様子】



(兵庫医療大学)



(聖路加看護大学)



(聖マリアンナ医科大学看護専門学校)



(国立病院機構岡山医療センター附属岡山看護学校)



(慶應義塾大学)



(東都医療大学・深谷大里専門学校 \* 合同授業)



## カット・イベント

プロジェクトに参加した看護学生達は、髪を伸ばす間にヘアケアやアンケート回答などの活動をしました。2011年3月までに卒業した学生は卒業までにヘアカットを終え、在校生についてはNPO法人キャンサーリボンズが制定した「がん支えあいの日」(毎年6月21日)直前の6月12日(日)に、窪田理容美容専門学校(東京都中野区)で行われたヘアカット・イベント内で一斉に髪を切り、寄付していただきました。また、ヘア・カットは窪田理容美容専門学校の学生によるボランティアによるものでした。

イベント当日にはメディア(NHK ニュース7)でも紹介され、活動をPRできました。今回のヘア・ドネーション・プログラムが始まった9月以降だけでも、「キレイの力」プロジェクトは、関西テレビ、高知さんさんテレビ、テレビ新広島、山陰中央テレビ、名古屋テレビ、山陽放送等の報道番組で紹介されるなど、認知が高まっています。

### 【ヘアカット・イベントの様子】



[カット前の様子]



[カット後の記念撮影]



[カットされたドネーションの毛束]